【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成16年12月16日(2004.12.16)

【公開番号】特開2000-227093(P2000-227093A)
【公開日】平成12年8月15日(2000.8.15)
【出願番号】特願平11-27266
【国際特許分類第７版】
　Ｆ０４Ｄ　15/00
　Ｆ０４Ｂ　49/06
【ＦＩ】
　Ｆ０４Ｄ　15/00　　Ｄ
　Ｆ０４Ｂ　49/06　　３２１Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月14日(2004.1.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のポンプを負荷水量に応じて並列又は単独で運転し、少なくとも１台のポンプを所要の目標圧力となるように可変速運転を行う給水装置の運転制御方法において、
複数のポンプの１台を固定速度で運転し、他の１台を可変速運転中に、該可変速運転中の１台のポンプを解列するに際して、前記可変速運転中のポンプの回転速度における締切圧力と、実際の吐出圧力とを参照して、解列を決定することを特徴とする給水装置の運転制御方法。
【請求項２】
前記ポンプの解列は、実際のポンプ吐出圧力を、その時の可変速運転中のポンプの回転速度に対応したポンプ締切圧力と比較して、実際のポンプ吐出圧力が対応するポンプ締切圧力よりも高くなった場合に、実行するものであることを特徴とする請求項１に記載の給水装置の運転制御方法。
【請求項３】
複数のポンプと、該ポンプを可変速運転する制御装置と、前記複数のポンプの吐出集合管に設けられた圧力センサと、前記ポンプの回転速度に対応した締切圧力のテーブルとを備え、実際吐出圧力とその時のポンプ回転速度に対応した前記テーブルの締切圧力とから、複数運転中のポンプの一台を解列することを特徴とする給水装置。
【請求項４】
前記ポンプの解列は、実際のポンプ吐出圧力を、その時の可変速運転中のポンプの回転速度に対応したポンプ締切圧力と比較して、実際のポンプ吐出圧力が対応するポンプ締切圧力よりも高くなった場合に、実行するものであることを特徴とする請求項３に記載の給水装置。